

事務事業評価表

事務事業名	コミュニティ施設管理運営	計画コード	5101
所属名(部・課・担当)	市民環境部 市民活動推進課	担当名	コミュニティ担当
基本目標	安らぎと賑わいある美しいまち【生活・環境・産業】		
基本施策	つながりの強い地域づくり		
施策	51	コミュニティ施設の整備	
取組内容番号			

1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	コミュニティセンター等設置管理条例、施行規則、利用の手引き
対象	市内在住・在勤者		
意図・目的	住民相互が連帯感を醸成し、心豊かなコミュニティ形成を図り、地域住民の手により、コミュニティ施設の管理運営が行なわれるようにする。		
活動概要	コミュニティセンター4館と地域センター6館の合計10館のコミュニティ施設において、施設管理を地域住民の手による施設管理業務委託契約と締結し、自治会や市民団体などの活動拠点を提供すると共に、各館のPRや施設利用の向上を図る事業を展開する。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者: 各施設の管理協力委員会10館) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先:) <input type="checkbox"/> その他 (施設設備の維持管理業務委託、緊急修繕、諸事務)		

2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度		達成度 (%)	備考	
			実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	目標値							
活動実績	施設数	館	10.0		10.0		10.0		10.0		100.0				
	管理協力委員会の会議数	回	78.0		77.0		77.0		77.0		128.3		各館・合同会議		
	年間利用者数	人	127,663.0		118,821.0		109,234.0		132,000.0		150,000.0		72.8	2.5割	
定量的評価	事業費	予算額	千円	68,053		63,770		64,174		64,355		備考			
		決算額	千円	62,402		60,366		56,707		-					
	財源内訳	(一般財源)	千円	61,742		59,369		55,899		63,364					
		(特定財源)	千円	660		997		808		991					
	人件費	職員数(正規/非常勤)	人	1.0	0.0	1.0	0.0	1.0	0.0	1.0	0.0				
		職員分	千円	6,100		6,100		6,100		6,100					
		非常勤分	千円	0		0		0		0					
		総事業費(事業費+人件費)	千円	68,502		66,466		62,807		70,455					
	定性的評価	活動の成果	東日本大震災の影響を受け、一時的に使用できない期間があったことや、震災の不安から、利用者が一時的に減少した期間があった。しかしその後は、より一層地域の人のつながり意識の向上により、前年度に比べ利用者は若干減少はしたものの、地域のコミュニティの場としてさらに有効的に利用されたと考える。今後も、自治会活動や地域のコミュニティの場として、施設を活用していただくようPRしていく。												

3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	B	B
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	B	B
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	B
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	B	B
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	各センターを委託している地域の人で構成される管理協力委員会とより一層協働して管理していくことで、さらなる市民サービスの向上が見込める。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
事業の方向性	地域や市民の活動拠点として、管理協力委員会との協働を推進し、施設管理を行う。

6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	施設利用者が安全に安心して利用できるよう、施設管理を行う管理協力委員会と連携し、施設維持管理を行う。

事務事業評価表

事務事業名	コミュニティ施設整備	計画コード	5102
所属名(部・課・担当)	市民環境部 市民活動推進課	担当名	コミュニティ担当
基本目標	安らぎと賑わいある美しいまち【生活・環境・産業】		
基本施策	つながりの強い地域づくり		
施策	51	コミュニティ施設の整備	
取組内容番号			

1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	コミュニティセンター等設置管理条例、公共施設修繕計画
対象	市内在住・在勤者		
意図・目的	市民が安全で快適に利用できるよう、施設の整備を行う。		
活動概要	コミュニティ施設の適正な整備を図るため、経年劣化による施設本体や設備等の点検を行なうと共に、施設の設置・改修・大規模修繕など計画的に進める。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者:) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先:) <input type="checkbox"/> その他 ()		

2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度		達成度 (%)	備考	
			実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	目標値							
定量的評価	活動実績	当初設定指標	施設数	館	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	100.0				
			管理協力委員会の会議数	回	78.0	77.0	77.0	77.0	77.0	60.0	128.3				
			改修・修繕対応箇所	箇所	12.0	19.0	17.0	20.0	20.0	20.0	85.0				
		追加指標													
	費用	事業費	予算額		千円	15,400	15,434	19,643	14,786	備考					
			決算額		千円	15,399	15,432	19,204	-						
			財源内訳	(一般財源)		千円	15,399	15,432	19,204	0					
				(特定財源)		千円	0	0	0	14,786					
		人件費	職員数(正規/非常勤)		人	1.0	0.0	1.0	0.0	1.0	0.0				
			職員分		千円	6,100	6,100	6,100	6,100						
非常勤分			千円	0	0	0	0								
総事業費(事業費+人件費)		千円	21,499	21,532	25,304	20,886									
定性的評価	活動の成果	東日本大震災の影響を受け、緊急的な修繕を行ったが、市民が安全に快適に過ごせる場として、管理協力委員会と連携し、施設の維持管理が行うことができた。今後もより一層連携し、施設の維持管理を行っていく必要がある。													

3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	B
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	B	B
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	B
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	B
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	効率的かつ計画的な施設整備を行っていくため、施設保全計画に基づいた整備が必要である。また、定期的な点検や確認を行い、利用者が安全に利用できるよう整備する。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
事業の方向性	施設利用者が安全に安心して利用できるよう施設整備を行う。

6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	施設保全計画に基づき、施設利用者が安全に安心して利用できるよう施設整備を行う。

事務事業評価表

事務事業名	緑化普及啓発活動	計画コード	5601
所属名(部・課・担当)	市民環境部 環境課	担当名	環境計画担当
基本目標	安らぎと賑わいある美しいまち【生活・環境・産業】		
基本施策	環境に配慮したまちづくり		
施策	56	湧水・緑地の保全と再生	
取組内容番号			

1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	—
対象	緑化まつり来場者 展示会参加者 体験教室参加者		
意図・目的	緑豊かなまちづくりを推進することにより、市民の緑化に対する意識が高揚している。		
活動概要	広く緑化意識の高揚を図るため、さつき盆栽・山野草の展示会や緑の体験教室事業を実施するとともに、来場者に記念苗木の配布や緑の募金活動を行う。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者:) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先:) <input type="checkbox"/> その他 ()		

2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度 目標値	達成度 (%)	備考
			実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	見込値					
定量的評価	活動実績	当初設定指標	緑化体験事業数	事業	3.0	4.0	3.0	3.0	3.0	4.0	75.0		
		追加指標	花いっぱい運動参加申込数	人	118.0	102.0	101.0	110.0	110.0	120.0	84.2		
		追加指標	苗木配布数(緑の募金)	本	700.0	700.0	0.0	500.0	500.0	1,000.0	0.0		
	事業費	予算額		千円	1,587	1,613	909	1,346	備考				
		決算額		千円	1,339	1,572	770	-					
		財源内訳	(一般財源)	千円	1,118	1,364	770	1,146					
(特定財源)			千円	221	208	0	200						
職員数(正規/非常勤)		人	0.5	0.0	0.5	0.0	0.5	0.0	0.5	0.0			
人件費	職員分		千円	3,050	3,050	3,050	3,050						
	非常勤分		千円	0	0	0	0						
	総事業費(事業費+人件費)		千円	4,389	4,622	3,820	4,396						
定性的評価	活動の成果	緑の展示会等を通じて、市民の緑化に対する意識が向上した。また、花いっぱい運動では緑のカーテンを取り入れた内容で実施し、応募人数の2倍の参加申込があった。苗木の配布については、東日本大震災の影響で、緑の募金緑化事業交付金が取り消しとなり配布を取りやめた。震災の影響で省エネの意識も向上しているため、今後は、市民ニーズに対応した事業内容の見直しが必要である。											

3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	C	C
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	B	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	B	B
	A 進んでいる B 進んでいない		

4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	震災による省エネ意識の向上や地球温暖化防止の観点から、緑化に対する市民意識は高まっている。今後は、緑のカーテン教室を含め市民ニーズに合った事業を展開していくことで、更なる啓発を見込むことができる。また、平成24年度は緑の展示会と合わせて親子フリーマーケットや移動販売車等による販売も実施予定で、例年よりも集客も見込むことができる。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
事業の方向性	1次評価にあるように、震災等を契機とした新たな市民ニーズとして、節電対策及び地球温暖化防止対策の観点からの緑化事業の必要性が求められており、今後の事業展開としては、緑化啓発と併せて温暖化対策や環境教育といった視点を考慮する。

6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	CO2吸収、ヒートアイランドの緩和等、都市環境の改善の側面からも屋上及び壁面緑化を促し、市街地の緑を創出する。また、環境配慮行動のきっかけづくりとして、イベント等の行動体験機会を創出する。

事務事業評価表

事務事業名	緑化助成金	計画コード	5602
所属名(部・課・担当)	市民環境部 環境課	担当名	環境計画担当
基本目標	安らぎと賑わいある美しいまち【生活・環境・産業】		
基本施策	環境に配慮したまちづくり		
施策	56	湧水・緑地の保全と再生	
取組内容番号			

1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	和光市緑の保護および緑化推進に関する条例
対象	保存樹木・保全地区の所有者		
意図・目的	市街地の貴重な緑が保全されている。		
活動概要	緑の保護および緑化推進に関する条例に基づき、保全地区については、当該緑地の固定資産税及び都市計画税の2分の1に相当する額、保存樹木については4,000円/本の助成を行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者:) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 (補助先: 市指定保存樹木及び保全地区の所有者) <input type="checkbox"/> その他 ()		

2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度		達成度 (%)	備考
			実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	目標値						
定量的評価	活動実績	当初設定指標												
		保全地区数	箇所	6.0	5.0	5.0	5.0	6.0	83.3					
		保全地区面積	m ²	13,564.0	11,866.0	11,866.0	11,866.0	13,000.0	91.3					
	追加指標	保存樹木本数	本	712.0	709.0	691.0	700.0	739.0	93.5					
	費用	事業費	予算額	千円	6,760	6,347	6,297	5,948	備考					
			決算額	千円	6,214	5,949	5,527	-						
財源内訳			(一般財源)	千円	6,214	5,949	5,527	5,948						
			(特定財源)	千円	0	0	0	0						
人件費		職員数(正規/非常勤)	人	0.5	0.0	0.5	0.0	0.5	0.0					
		職員分	千円	3,050	3,050	3,050	3,050							
		非常勤分	千円	0	0	0	0							
	総事業費(事業費+人件費)	千円	9,264	8,999	8,577	8,998								
定性的評価	活動の成果	保全地区については増減なし。保存樹木については、近隣住民の苦情等を理由に解除、伐採された樹木があり減少した。												

3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	B	B
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	保全地区及び保存樹木に対する助成金は、市内の緑を保全するための有効な手段であり、今後も継続していく必要がある。また、周辺の宅地化により苦情等による伐採や剪定等の問題もあることから、新規の助成については周辺の状況を確認して判断していかねばならない。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
事業の方向性	緑化推進は、温暖化対策や防災対策等の多面的機能を資する重要な事業であり、そのインセンティブとして緑化助成金による支援制度があるが、今後は支援制度のあり方について経済性、効率性を考慮する必要がある。

6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	2次評価のとおり

事務事業評価表

事務事業名	湧水・緑地保全	計画コード	5603
所属名(部・課・担当)	建設部 都市整備課	担当名	公園緑地担当
基本目標	安らぎと賑わいある美しいまち【生活・環境・産業】		
基本施策	環境に配慮したまちづくり		
施策	56	湧水・緑地の保全と再生	
取組内容番号			

1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	都市緑地法
対象	ふれあいの森利用者 ふれあいの森・特別緑地保全地区のボランティア		
意図・目的	湧水・緑地を保全することにより、安全で快適な都市環境を創造し、市民に潤いと安らぎのある住環境を提供している。		
活動概要	市民緑地・特別緑地保全地区の維持管理については、協働事業提案制度や公共施設美化サポーター支援制度を活用し、市民との協働による緑地保全を推進する。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者:) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先:) <input type="checkbox"/> その他 ()		

2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度 目標値	達成度 (%)	備考	
			実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	見込値						
定量的評価	活動実績	当初設定指標	緑地面積	m ²	28,512.0	27,893.0	27,893.0	27,893.0	27,893.0	29,000.0	96.2			
			市民協働事業従事者数	人	1,000.0	1,000.0	1,000.0	1,000.0	1,000.0	1,200.0	83.3			
			公有地化した緑地数	箇所	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	5.0	80.0			
		追加指標												
	費用	事業費	予算額		千円	9,363	8,650	8,650	8,439	備考				
			決算額		千円	8,915	8,522	7,763	-					
			財源内訳	(一般財源)		千円	8,915	8,522	7,763	8,439				
				(特定財源)		千円	0	0	0	0				
		人件費	職員数(正規/非常勤)		人	0.5	0.0	0.5	0.0	0.5	0.0			
			職員分		千円	3,050	3,050	3,050	3,050					
非常勤分			千円	0	0	0	0							
	総事業費(事業費+人件費)		千円	11,965	11,572	10,813	11,489							
定性的評価	活動の成果	湧水・緑地保全については、23年度に新たに新倉ふれあいの森と市民協働型管理委託を締結した。市民協働型管理委託は上谷津ふれあいの森、(仮称)午王山ふれあいの森の含め3箇所となった。その他の緑地については、直営で維持管理を行った。												

3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	B	B
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	B	B
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	B	B
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	都市化による緑の減少が著しく、緑地の維持・拡大は難しいが、市民緑地制度等の活用により、引き続き緑地保全に努めていく。また、NPOや市民ボランティア等の協働による緑地の維持管理は、地域特性にあった保全が可能であるため、今後も市民協働による緑地の維持管理を推進していく。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
事業の方向性	1次評価のとおり、今後の緑地保全のあり方については、事業の経済性・効率性を考慮しながら協働事業提案制度(行政提案型)による緑地保全を推進する。

6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	特別緑地保全地区や市民緑地については、協働事業提案制度を活用し、現在、3つの市民団体に保全に関する維持管理を委託している。今後は、より一層、市民と協働による緑地保全を推進する。

事務事業評価表

事務事業名	湧水・緑地保全(緑の実態調査)	計画コード	5604
所属名(部・課・担当)	建設部 都市整備課	担当名	公園緑地担当
基本目標	安らぎと賑わいある美しいまち【生活・環境・産業】		
基本施策	環境に配慮したまちづくり		
施策	56	湧水・緑地の保全と再生	
取組内容番号			

1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	
対象	緑地を保全・育成・活用している市民		
意図・目的	市の緑の現状を調査し、緑地が保全・育成・活用されている。		
活動概要	埼玉県緊急雇用創出基金市町村事業費補助金により、和光市緑地保全計画に基づく緑被率の実態調査を行った。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者:) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先:) <input type="checkbox"/> その他 ()		

2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度	達成度 (%)	備考	
			実績値	実績値	実績値	見込値	目標値							
定量的評価	活動実績	当初設定指標												
		緑被地面積	m ²			4,145,803.0								
		緑被率	%			37.6								
		追加指標												
定量的評価	費用	事業費	予算額	千円	0	0	5,052	0	備考					
			決算額	千円	0	0	4,694	-						
			財源内訳	(一般財源)	千円	0	0	0	0					
				(特定財源)	千円	0	0	4,694	0					
		人件費	職員数(正規/非常勤)	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0		
			職員分	千円	0	0	3,050	0						
			非常勤分	千円	0	0	0	0						
	総事業費(事業費+人件費)	千円	0	0	7,744	0								
定性的評価	活動の成果	実態調査を行った結果、市内の緑被率は37.6%だった。今後はこの資料を参考に、和光市緑地保全計画に基づき緑地の保全・育成・活用に役立てていく。												

3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	実態調査により最新の市内の緑被率が判明したので、調査結果に基づき緑地の保全していく。また、一定年数が経過したのちに、再調査をすることにより、緑地の保全等の状況が比較しやすくなる。今回は埼玉県緊急雇用創出基金市町村事業費補助金を活用しての調査だったため、次回の調査では事業費の確保が課題となる。		
事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)		

5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)		
	1次評価のとおり		

6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)		
取組内容(改善内容)	緑の経年変化を把握するため実施するもので、次回の予定は平成28年度です。		

事務事業評価表

事務事業名	緑地整備	計画コード	5605
所属名(部・課・担当)	建設部 都市整備課	担当名	公園緑地担当
基本目標	安らぎと賑わいある美しいまち【生活・環境・産業】		
基本施策	環境に配慮したまちづくり		
施策	56	湧水・緑地の保全と再生	
取組内容番号			

1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	-
対象	市民緑地などを利用する市民		
意図・目的	市民緑地が安全で快適に利用されている。		
活動概要	市民緑地制度による新規「ふれあいの森」を整備する。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者:) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先:) <input type="checkbox"/> その他 ()		

2. 事業の実績

		指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度	達成度 (%)	備考
				実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	目標値					
定量的評価	活動実績	当初設定指標	緑地整備件数	件	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	3.0	33.3			
			緑地・水辺空間の整備面積	m ²	13,524.0	13,363.0	13,646.0	15,061.0	14,520.0	94.0				
			市民緑地数	箇所	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	100.0				
		追加指標												
	費用	事業費	予算額		千円	2,837	220	2,392	42	備考				
			決算額		千円	2,709	168	2,205	-					
			財源内訳	(一般財源)		千円	2,709	168	2,205	42				
				(特定財源)		千円	0	0	0	0				
		人件費	職員数(正規/非常勤)		人	0.5	0.0	0.5	0.0	0.5	0.0			
			職員分		千円	3,050	3,050	3,050	3,050					
非常勤分			千円	0	0	0	0							
	総事業費(事業費+人件費)		千円	5,759	3,218	5,255	3,092							
定性的評価	活動の成果	(仮称)午王山ふれあいの森の安全対策として、フェンス設置等の整備工事を行った。												

3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	今後も近隣の住環境に配慮しながら計画的に保全することにより、市民ニーズに応えた緑地を整備する。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	1次評価のとおり

6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	2次評価のとおり 現在、新規「ふれあい森」の整備計画なし。

事務事業評価表

事務事業名	生産緑地地区現地調査	計画コード	5606
所属名(部・課・担当)	建設部 都市整備課	担当名	公園緑地担当
基本目標	安らぎと賑わいある美しいまち【生活・環境・産業】		
基本施策	環境に配慮したまちづくり		
施策	56	湧水・緑地の保全と再生	
取組内容番号			

1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	生産緑地法
対象	生産緑地指定関係地権者		
意図・目的	生産緑地の現地調査を行い、台帳の整備併せて生産緑地にある破損している杭の修繕を行い適正な生産緑地の状態にする。		
活動概要	生産緑地杭の修繕・生産緑地台帳の整備		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者:) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先:) <input type="checkbox"/> その他 ()		

2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度		達成度 (%)	備考
			実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	目標値						
定量的評価	活動実績	当初設定指標												
		追加指標												
	費用	事業費	予算額	千円	0	0	1,875	0	備考					
		財源内訳	決算額	千円	0	0	1,846	-						
(一般財源)			千円	0	0	1,846	0							
(特定財源)		千円	0	0	0	0								
人件費		職員数(正規/非常勤)	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0			
		職員分	千円	0	0	1,220	0							
	非常勤分	千円	0	0	0	0								
	総事業費(事業費+人件費)	千円	0	0	3,066	0								
定性的評価	活動の成果	現地調査(現況の写真撮影)・生産緑地杭の修繕・生産緑地台帳の整備												

3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	生産緑地指定地が適正に管理されているか、常に監視する必要がある。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 終了(廃止・休止) 平成4年度の当初指定から今日まで、生産緑地全体の現地調査を行っていなかったことから、今回行ったものであるが、今後は、定期的実施していく。
--------	---

6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	生産緑地全体の現地調査と生産緑地の表示としての杭を取替えた。

事務事業評価表

事務事業名	水環境保全業務	計画コード	5701
所属名(部・課・担当)	市民環境部 環境課	担当名	環境推進担当
基本目標	安らぎと賑わいある美しいまち【生活・環境・産業】		
基本施策	環境に配慮したまちづくり		
施策	57	水環境の保全	
取組内容番号			

1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	浄化槽法 水質汚濁防止法
対象	環境公害を受けている市民、浄化槽管理者		
意図・目的	衛生的で水の恵み豊かな生活環境が回復されている。		
活動概要	浄化槽管理者への適正管理の呼びかけ、及び河川水質調査を定期的に行い、監視を行い、健全な水環境の保全を図る。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者:) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先:) <input type="checkbox"/> その他 ()		

2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度	達成度 (%)	備考
			実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	目標値					
定量的評価	活動実績	当初設定指標											
		市内3河川のBOD値	mg/L	3.2	2.2	13.9	2.0	1.0	1390.0				
		浄化槽管理者への指導件数	件	6.0	4.0	3.0	3.0	3.0	100.0				
		水辺のサポーター登録団体数	団体	1.0	1.0	6.0	6.0	2.0	300.0				
	追加指標												
	費用	予算額		千円	3,027	2,237	2,074	2,074	備考				
		決算額		千円	2,835	2,100	2,072	-					
		財源内訳	(一般財源)	千円	2,835	2,100	2,072	2,074					
			(特定財源)	千円	0	0	0	0					
		人件費	職員数(正規/非常勤)		人	0.4	0.0	0.4	0.0	0.4	0.0		
職員分			千円	2,440	2,440	2,440	2,440						
非常勤分			千円	0	0	0	0						
総事業費(事業費+人件費)		千円	5,275	4,540	4,512	4,514							
定性的評価	活動の成果	市内の河川について、水質、汚濁負荷量、水生生物の生息数等を継続的に把握することにより、河川環境を監視するとともに改善施策、意識啓発の基礎資料とした。また、生活排水の適切な浄化による水質管理を図るため、浄化槽実態調査の結果に基づいた浄化槽設置者への指導啓発を行った。											

3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	B
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	B	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	B	B
	A 進んでいる B 進んでいない		

4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	公共下水道整備の進捗に伴い浄化槽設置基数は減少傾向にあるが、一部の浄化槽設置者において適正な維持管理が行われていない実態があり、一部河川でBOD濃度が環境基準値を上回るなど水質汚濁が発生する事例が年に数件起きている。今後も、公共下水道事業の進捗状況を注視しながら、浄化槽管理者へ適正な維持管理の周知PRをする必要がある。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止) 浄化槽設置基数は毎年減少傾向を示しているが、指標の1つであるBOD値では環境基準値を超過する河川箇所もあるので、より一層の法定検査等の徹底と維持管理のPRを図る必要がある。
--------	---

6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	河川水質については、定期的な監視体制を構築し、浄化槽の適正管理について周知PRする。また、雨水の有効利用については、雨水小型貯水槽補助制度の見直しを図る。(補助対象者の拡大)